



OPCTV

オプション倶楽部TV

【売坊流】 政治経済イベント分析（25年4月）

日経平均の暴落を招いた トランプ関税の根拠とは

この番組では皆様の投資やトレードに役立ち
そうなイベント、グレイ・リノ、異常値分析
について紹介していきます！



OP売坊

©2019-2025 OP売坊



2025年3月の日経平均を振り返る

日経225先物25年 6月限 4時間足 (2024/12/6~25/04/07)



日経平均（現物指数）ではなく、**日経225ラージ先物 6月限**の4時間足を掲載したのは、出来高分布とともに大口投資家の売買動向を分析するためです。資金量大きい投資家にとってミニ先物は小さすぎます

暴落で大口投資家の買い玉が「かなり」しこっていると考えられます。また、昨年8月の暴落とは異なり、今回は下げの理由がトランプ関税ですので、すぐに解決する問題ではありません。本格的な上昇には、かなり時間がかかるとともに、時期が読みにくい状況です



日経225OP 4月限36000PUTのプレミアムが25倍以上にも

日経225先物25年6月限日足 (2025/03/11~04/07)



3月下旬には**OTM**
(現在値から離れており本質的価値がない状態の権利行使価格)であった日経225OPの36000PUT (36000円で売る権利)でさえ、先物の下落とともに、ものすごい値上がりとなりました

日経225OP25年4月限36000PUT日足 (2025/03/11~04/07)



3月26日には200円台で取引されていた36000PUTのプレミアム格)が4月7日には5525円まで上昇しています。例えば、26日にミニ36000PUT (ミニOPは100倍)を1枚2万円で買って、いけば、55.25万円となったこととなります

出所) 楽天証券『MARKETSPEEDII』 (2025年4月8日6時現在)



25年6月限SQ日ごろまでの注目イベント

<米国>

4月10日：消費者物価指数（3月分）
 4月11日：生産者物価指数（3月分）
 4月30日：25年第1四半期GDP速報
 5月02日：雇用統計（4月分）
 5月06日：貿易収支（3月分）
5月07日：FRB政策金利（FOMC）
 5月13日：消費者物価指数（4月分）
 5月15日：生産者物価指数（4月分）
 6月05日：貿易収支（4月分）
 6月06日：雇用統計（5月分）

<欧州・英国>

4月17日：欧州（ECB）政策金利
 5月08日：英国（BOE）政策金利

<日本>

4月13日：大阪・関西万博開幕
 4月17日：貿易収支（3月分）
 4月25日：消費者物価指数（東京4月分）
5月01日：日銀政策金利
 5月21日：貿易収支（4月分）
 5月30日：消費者物価指数（東京5月分）

〔注〕 予定は予告なく変更される場合があります。
 出所）ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

18日金曜日（グッドフライデー）と21日月曜日（イースター・マンデー）は香港・上海市場が休場となり、要注意日です。ゴールデンウィークもあり、荒れる展開は、まだまだ続くと考えています



2025年4月

7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2025年5月

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025年6月

					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

	日経225ミニOPのSQ日
	日経225ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
メジャー-SQ	日経225ラージ/ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
	祝日取引実施日

- 4月29日、5月5・6日には祝日取引があります。
- 第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りの日です。
- OP売坊公式X「@OP49431790」で気になったニュースについて、つぶやいています。ぜひご覧ください。



トランプ大統領は政策金利の引き下げを期待

米クリーブランド連銀の3・4月分CPI予測（前年比、2025/04/04現在）

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
April 2025	2.55	2.99	2.26	2.64	04/04
March 2025	2.49	2.99	2.25	2.68	04/04

出所) クリーブランド連銀

5月13日の米CPI（消費者物価指数）も想定外の低下となる可能性がでてきました。トランプ大統領は新発米国債の利払い費を抑え、財政赤字が縮小の方向になることを期待してFRB（米連邦準備理事会）に政策金利の引き下げを求めています

CME『FEDウォッチ』（2025/04/04現在）

	CME FEDWATCH TOOL - CONDITIONAL MEETING PROBABILITIES										
MEETING DATE	175-200	200-225	225-250	250-275	275-300	300-325	325-350	350-375	375-400	400-425	425-450
2025/05/07						0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%
2025/06/18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.6%	63.9%	5.6%
2025/07/30	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.4%	61.6%	9.6%	0.4%
2025/09/17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.7%	52.6%	23.7%	2.9%	0.1%
2025/10/29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.2%	36.4%	38.4%	13.5%	1.5%	0.1%
2025/12/10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	25.1%	37.5%	24.2%	6.7%	0.7%	0.0%
2026/01/28	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	11.8%	28.9%	33.4%	18.8%	4.8%	0.5%	0.0%
2026/03/18	0.0%	0.0%	0.6%	5.3%	17.8%	30.5%	28.2%	13.8%	3.3%	0.3%	0.0%
2026/04/29	0.0%	0.1%	1.6%	7.9%	20.5%	30.0%	25.2%	11.7%	2.7%	0.3%	0.0%
2026/06/17	0.0%	0.4%	2.8%	10.4%	22.3%	29.1%	22.6%	9.9%	2.2%	0.2%	0.0%
2026/07/29	0.1%	0.6%	3.3%	11.1%	22.8%	28.7%	21.8%	9.4%	2.1%	0.2%	0.0%
2026/09/16	0.1%	0.7%	3.5%	11.5%	22.9%	28.5%	21.4%	9.2%	2.0%	0.2%	0.0%
2026/10/28	0.1%	0.6%	3.3%	10.8%	21.9%	28.0%	22.0%	10.3%	2.7%	0.3%	0.0%
2026/12/09	0.5%	3.0%	9.8%	20.5%	27.2%	22.8%	11.8%	3.6%	0.6%	0.1%	0.0%

出所) FEDウォッチ

FRB『ドットチャート』（25年3月次←24年12月次）

TARGET RATE	2025	2026	2027	LONGER RUN
4.750				
4.625	4			
4.500				
4.375	4			
4.250				
4.125	4	3		
4.000				
3.875	9	1	2	1
3.750				1
3.625	2	2	4	2
3.500				2
3.375		9	2	1
3.250				
3.125		1	6	1
3.000				3
2.875		3	3	4
2.750				
2.625			2	2
2.500				2
2.375				

TARGET RATE	2024	2025	2026	2027	LONGER RUN
4.750					
4.625	4				
4.500					
4.375	15	1			
4.250					
4.125		3			
4.000					
3.875		10	3	2	1
3.750					1
3.625		3	4	4	2
3.500					2
3.375		1	5	1	1
3.250					
3.125		1	4	7	1
3.000					3
2.875			1	2	4
2.750			1	1	1
2.625				1	1
2.500					1
2.375			1	1	1
2.250					



米国の貿易赤字は加速中

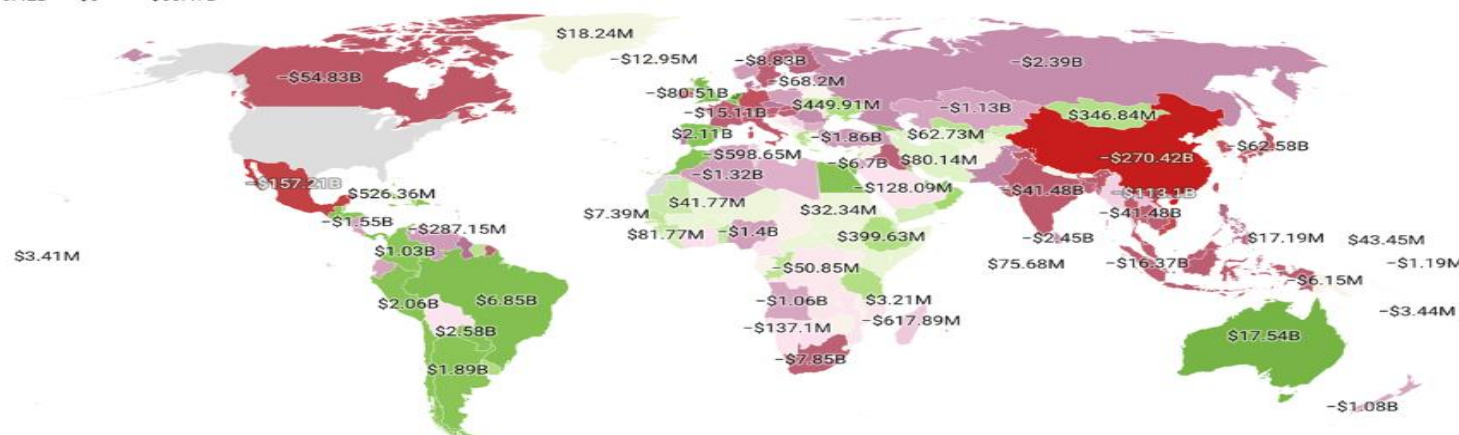
米国の貿易収支 (百万ドル : 1992/01/01~2025/02/01)



出所) セントルイス連銀

米国の国別貿易収支 (2024年の11カ月間、赤は赤字・緑は黒字)

Red means a trade deficit in goods and green means a trade surplus.
-\$270.42B \$0 \$50.47B



Source: <https://brilliantmaps.com/us-balance-of-trade/> - Created with Datawrapper

出所) brilliantmaps.com

米国の貿易赤字が急激に拡大しているのは、ドル高の進行もあって海外からの輸入品が値下がりで魅力的となってきたからでしょう。また、直近ではトランプ関税への警戒もあり、駆け込み輸入も増えたと考えられます

米国の国別貿易収支を掲載したのは、トランプ大統領が国別にかけた関税率との関係が見て取れるからです



トランプ流の相互関税計算式

相互関税の税率計算式

対米貿易黒字額

X 50%

対米輸出額

例) 中国 (2024年)

$2950 \div 4380 = 67\% \quad \times 0.5 \div 34\%$

例) 日本 (2023年)

$741 \div 1544 = 48\% \quad \times 0.5 \div 24\%$

出所) 米通商代表部、財務省より筆者作成

図1 輸出大企業に対する還付金額上位20社の推算

企業名	事業年度	売上高 (億円)	輸出割合 (%)	還付金額
① トヨタ自動車	2023年4月～ 2024年3月	17兆5,755	77.4 (推定)	6,102
② 本田技研工業	同上	4兆5,446	90.4 (推定)	2,418
③ 日産自動車	同上	4兆1,872	84.2 (推定)	2,283
④ マツダ	同上	3兆6,361	88.7 (推定)	1,714
⑤ 三菱自動車	同上	2兆3,489	78.2 (推定)	1,123

出所) 全国商工団体連合会

日本企業の各業種における対米貿易収支

2022年 182,550 億円 +23.1%	2023年 202,602 億円 +11.0%
自動車 43,121 億円 +20.3% (23.6%)	自動車 58,439 億円 +35.5% (28.8%)
原動機 10,206 億円 +23.7% (5.6%)	原動機 10,814 億円 +6.0% (5.3%)
自動車の部分品 10,154 億円 +13.1% (5.6%)	自動車の部分品 10,758 億円 +6.0% (5.3%)
建設用・鉱山用機械 7,377 億円 +51.5% (4.0%)	建設用・鉱山用機械 9,471 億円 +28.4% (4.7%)
半導体等製造装置 6,030 億円 +44.6% (3.3%)	科学光学機器 5,224 億円 +7.4% (2.6%)
科学光学機器 4,863 億円 +26.8% (2.7%)	半導体等製造装置 4,929 億円 ▲18.3% (2.4%)
医薬品 4,124 億円 +47.1% (2.3%)	医薬品 4,372 億円 +6.0% (2.2%)
電気計測機器 3,840 億円 +15.2% (2.1%)	重電機器 4,046 億円 +32.8% (2.0%)
ポンプ・遠心分離機 3,292 億円 +10.2% (1.8%)	電気計測機器 3,774 億円 ▲1.7% (1.9%)
電池 3,067 億円 +18.8% (1.7%)	ポンプ・遠心分離機 3,396 億円 +3.2% (1.7%)

出所) 財務省

貿易赤字の比率が大きい国ほど関税率が高いわけですので、トランプが使用した関税計算式は、貿易による米国の赤字是正を狙ったものだと分かります

通常、輸出品には消費税を賦課しないことから日本の自動車関連企業は仕入れ段階で支払ったとされる消費税分を還付金「輸出戻し税」として、かなりもらっています。その恩恵を受けるため輸出拡大へのインセンティブが働くわけです。それを見通してトランプ大統領は「消費税も関税だ」といっているのでしょう



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- ・ 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - ・ 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - ・ 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - ・ 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - ・ 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!

お気軽にご登録ください！



オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

[https:// x .com/OP49431790](https://x.com/OP49431790)

Copyright © 2019-2025 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用了た図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



OP売坊の『オプション倶楽部TV (OPCTV) 』

水曜22時から YouTube で配信中!!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



政治経済
イベント分析

第2週目



グレイ・リノ
分析

第3週目



異常値分析

第4週目



ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミア公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです!

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>